令和5年度　枝川小学校グランドデザイン

本県の教育目標	本県総合計画	ひたちなか市の目指す子ども像
・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性を培う ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う ・郷土を愛し協力しあう心を育てる	茨城県の未来をつくる「人財」の育成 令和５年度学校教育指導方針 すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり	「知性と豊かな人間性を備えた心身ともにたくましい子ども」 ひたちなか市学校教育振興のためのスローガン 「夢・感動・笑顔がひろがる教育のまち　ひたちなか」

「やればできる」の碑

本校の教育目標
自ら進んで活動し、心豊かでたくましく生きる児童の育成

＜校訓＞　礼儀　健康　協力

創立150周年

－明治６年創立－

＜目指す学校像＞	＜目指す児童像＞	＜目指す教師像＞
明るく楽しく学び合う学校 ○一人一人が生き生きと活動する学校 ○一人一人が学ぶ意欲に満ちた学校 ○一人一人が活躍する場のある学校	心豊かで、自ら伸びようとする子 ○進んで学ぶ子 （自ら学び、考え、判断し行動する子） ○やさしく思いやりのある子 （心豊かな子） ○力いっぱい運動する子 （進んで運動する子）	児童、保護者、地域の方々から信頼される教師 ○広い視野と温かな人間性をもち、熱心に教育できる教師 ○児童とともに行動する教師 ○授業や指導を振り返り、課題を見つけ、改善していこうとする教師

学校経営の基本方針　※小規模校ならではの　小規模校だからこそ　枝川小だからこそできる教育
学力を向上させ、社会に通用する人財育成を目指す
「オール枝川」「すべては子供たちのために」をもとに連携・協働する

教育スローガン
「やればできる」を自信に　みんなが笑顔で　まわりの人には感謝を！

組織目標　自信をもち、児童と教職員が楽しいと感じ、活気のある学校づくり

【知】進んで学ぶ子	【徳】やさしく思いやりのある子	【体】力いっぱい運動する子
【知】グループ目標 ◎自ら考え、「できた」を実感できる学習活動・学習形態の工夫	**【徳】グループ目標** ◎自他を大切にして、豊かな人間関係を育む絆と居場所づくりの工夫	**【体】グループ目標** ◎自ら健康な生活を意識し、体力を高めるための指導の工夫
＜具体的な姿＞ ○友達と意欲的に学び合う子 ○自分の考えや思いを自分の言葉で表現することのできる子 ○学習内容が身に付いている子 ○学習したことをもとに自分の考えや関心を高める子	＜具体的な姿＞ ○自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら生活できる子 ○相手の気持ちを考え、誰にでも優しくできる子 ○自分の考えを正しく伝え、相手の考えも確実に聴ける子	＜具体的な姿＞ ○進んで運動を楽しみ、できることを増やそうとする子 ○自分の体を大切にし、心身ともに健康な子 ○安全に生活するための知識を身に付け、実践する子 ○危険回避能力が身に付いている子
＜主な手立て＞ ○主体的・協働的な学習の充実 ・ＩＣＴ機器の積極的な活用 ・児童の興味、関心が高まるような課題の設定 ・地域や外部人材の活用 ○振り返り活動の充実 ・学びの達成感の言語化 ・「学び続ける」次の意欲へのつなぎ ○読書活動の推進 ・豊かな情操の育成 ・語彙を増やし、表現力の向上	＜主な手立て＞ ○望ましい言語環境づくり ・やればできる委員会によるマナーアップ運動や笑顔プロジェクト ○児童一人一人を大切にした全職員による児童への関わり ○保幼小接続・小小連携・小中連携の推進 ○児童集会活動の充実 ○全校音楽活動の推進 ○道徳科の授業充実（いじめ未然防止等） ○人権教育・キャリア教育の充実 ○体験学習・社会科見学の充実 ○教育相談の充実と外部機関との連携 ○地域の方々との連携・交流	＜主な手立て＞ ○児童が運動の楽しさを味わえる体育授業の展開 ○体力づくり活動の推進 ・走れ走れ運動やロング昼休みの活用 ・ボール遊びや鬼遊びの充実とルールの徹底 ○食育の推進 ・他校の栄養教諭との連携 ○避難訓練や日常的な指導による危険回避能力の育成 ・「いかのおすし」等合い言葉の徹底

スクールマニフェスト

□授業がよく分かる・分かる…100％ □授業に主体的に取り組んでいる…90％ □読書の習慣化 ・年間50冊以上…100％ 学校として水戸教育事務所長賞を受賞する。	□マナーアップの向上 ・「お」「あ」「し」「す」運動…100％ ・元気にあいさつができる…100％ ・時間を守ることができる…100％ ・自ら進んで清掃できる…100％ □楽しい学校・・・100％ □いじめゼロ	□体力テストの結果Ａ判定およびＢ判定の合計が60％以上（R4:54％） □虫歯ゼロ（治癒率100％） □朝食摂取率…100％ □ヘルメット着用率…100％

①保幼小との接続、小小、小中高との連携及び情報共有
②地域や外部人材の積極的な活用【全校音楽活動、コミュニティゲスト（陸上指導、読み聞かせ）】
③保護者（PTA・音楽後援会合同運営委員会等）と学校運営協議会との連携
④働き方改革の正しい認識とその実現